

えがお



第6号
令和2年6月16日
朝日小学校保健室
視力検査について

感染症予防を気にしながらの視力検査だったので、いつもより時間がかかりましたが、全員検査が終わりました。しかし、例年行っていた再検査の時間が取れなかったため、結果に疑問のある方は、再検査しますのでご連絡ください。

メディアコントロールの取組後の保護者感想では、メディアの使用時間と視力が低下していないかを気にしている方が多かったです。全校の結果は左の通りでした。確認してください。

<視力検査の様子>

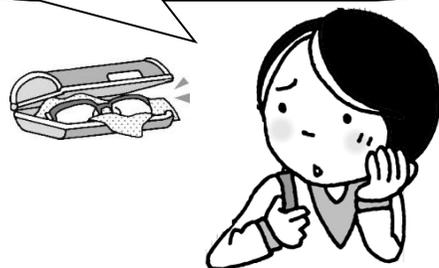
見えにくくなっている子は、目を細めたり、見開いたり、顔を傾けたり、前のめりになったりと何とか見ようと必死でした。見えにくそうにしている様子を見て「授業中、困っているんじゃない?」と聞くと、「教室では見えています。」との答え…。急に視力が低下したのなら、見えにくさに困ったり、心配したりして、すぐに病院へ行くと思うのですが、徐々に視力が低下したので、本人も不自由さに気付きにくいのでしょう。しかし、視力が悪いままでぼんやりとした物しか見ていないと脳の中では、見るものをそのようなものだと勘ちがいでしまい、しっかりと観察する能力が怠けてしまいます。本当に黒板の字が見えていますか?見えないということはあなたにとって不利なことです。【目のぼやけ】は、【頭のぼやけ】につながります。見えにくいのを我慢せずに、早めに病院受診してくださいね。ご家庭でも子供さんと教室での見えにくさについて話あってください。めがねをかけていてもレンズが合わなくなっている人もいます。受診して確認しましょう。



よく聞かれる質問です。

【質問】

小さいころから、眼鏡をかけていると、視力低下が早くなるのでしょうか?



【答え】

視力低下が早まることはありません

「基本的に視力低下が早くなるということはありません。眼鏡の装用時期は、遠視か近視か、またはどの程度の度数かにより異なります。強度の遠視の場合、弱視や斜視を治療するために、1歳や2歳くらいから眼鏡の装用が必要なこともあります。眼鏡での治療を先延ばしにしているうちに視力の発達の重要な時期を逃し、弱視になる場合もあるので注意しましょう。

小笠原クリニック 小笠原 孝祐先生



視力検査結果 眼鏡の子は眼鏡装用時の結果 (眼鏡使用 39人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
A	32	22	20	23	23	20	140(68%)
B	3	3	3	6	9	8	32(16%)
C	2	2	3	6	8	6	27(13%)
D	0	2	2	1	1	1	7(3%)

視力検査を行いました。検査の結果B以下の児童全員にお知らせ用紙を配布しました。

眼科受診する場合は、お知らせ用紙をもって受診してください。病院受診後、受診結果は、生活指導の資料としますので学級担任へご提出ください。

(持ち帰らなかった人は、視力に問題のなかった人です。)

<参考>

児童生徒の健康診断マニュアル(平成27年改訂)



判定	視力	備考
A	1.0以上	視力は、良好です。学校生活に影響なし。
B	0.7~0.9	条件によって学校生活に影響がある。
C	0.3~0.6	教室後方からは、黒板の字が見えにくいことがある。
D	0.2以下	教室の前列でも黒板の文字が見えにくい。

<病院受診について>

*初めて視力がB以下になった人は、病院受診をお勧めします。

*眼鏡で見えにくくなっている人は、受診してレンズを交換の必要があるか医師と相談してください。

*このまま病院受診せずに経過観察したい人は、その旨お知らせください。

(お知らせ用紙に保護者が「経過観察する」と記入して提出してください。)

視力低下が見られる場合、一年に一度は眼科受診して経過を確認しましょう。



「視力の重要性」

帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科 助教授 小鷲宏昭

人間が知覚から得る情報のうち 80%程度は、視覚に頼っているとされています。生活や学習において、良い視力を維持することはとても重要です。

近視や遠視の程度は、多くは眼球の長さ依存します。高学年では、成長に伴い近視が進みやすい傾向にあります。また、視力の発達の限界は、8歳程度までとされているので、低学年のうちに視力不良を発見し、正しい治療を受けることが大切です。視力治療を未治療のまま放置してしまうと、弱視になる可能性もあります。良い見え方を知らない子どもたちにとっては、見えにくいという概念自体がわからないこともあり、不自由さを訴えないこともあります。